

ひょうごかぞくねっと活性化アンケート 集計 23通の回答

《危機管理に関して》

- ①在宅の方へ 自宅近くの福祉避難所をご存じですか (9)知っている (4)知らない
- ②すべての方へ 利用施設の避難計画をご存じですか (10)知っている (7)知らない
- ③もしもの時にどんな準備や対策が必要だと思われませんか

- ①施設では他の障がい者は避難場所として受け入れてくれないと聞いたことがある
- ②障がい者の特性を理解してくれる人材の育成、環境の整備
- ③非常持ち出し袋(防災グッズ)・避難時の家の中の安全な場所・消火器などの安全確認・家族の役割分担や連絡方法
- ④水・食べ物避難場所を知り、本人の居場所を確保する
- ⑤行政と緻密な連携をとり、即対応してほしい
- ⑥避難先で落ち着いて過ごすために、もしもの時にどのような人が避難してくるのか福祉避難所に事前に知ってもらう
- ⑦普段からの近隣知人友人町内会等との交流(顔出し)で見える化。

各市町で要支援者の避難についての対策が練られています。家族会等で問い合わせをされるのもいいかと思えます。また《普段からの近隣知人友人町内会等との交流(顔出し)で見える化》はとても大切です

《5類に移行したコロナ対策について》

- ①利用施設からコロナ発生時の連絡はありますか (19)ある (2)ない
- ②面会や帰省はできていますか (15)できている (2)できない
- ③家族会は開催できていますか (19)できている (2)できない
- ④利用者互助会のコロナ対応はご存じですか (7)知っている (11)知らない
- ⑤コロナ対策について気になることはありますか

- ①インフルエンザと同じ扱いのコロナ、されどコロナ。集団生活などで身を守ることは大変。インフルエンザかコロナかの把握はしっかり対応し、スタッフ、利用者さんの重度化は避けてほしいです。
- ②新型コロナ禍における丸3年間は施設利用者家族関係者には大変な苦労と経験の機関であった。やっと本年度5月以降からであるが徐々に以前の日常に戻り少しずつ前進している。

●コロナ発生報告もきちんとされていることが分かりました。また、面会や家族会の開催なども平常化しつつ

《物価高騰について》

- ①食費や施設利用料(光熱水費等)の値上げはありましたか (7)ある (13)ない

①-2 あると答えた方は何がどれくらい値上がりしたか教えてください

- ①10%位の値上げ ②食費(材料費+人件費)として1日17円の値上げ
- ③食費1日80円 月額2400円の値上げ ④1000円
- ⑤給食費が1食360円から400円に値上げ ⑥通所施設1色360円が400円に

①-3 あると答えた方は施設より説明やお願いはありましたか (5)ある (1)ない

②値上げにより利用者の生活に困ったことがあれば教えてください

①書面にて値上げの通知が来た。

●入所施設の食費・光熱水費の実費負担については、53,500円を限度として施設ごとに額が設定されることとなりますが、低所得者に対する給付については、費用の基準額を53,500円として定し、食費・光熱水費の実費負担をしても、少なくとも手元に25,000円が残るように補足給付が行われます。なお、就労等により得た収入については、24,000円までは収入として認定しません。また、24,000円を超える額についても、超える額の30%は収入として認定しません。※市町村民税非課税世帯が対象です。

●通所施設等では、低所得、一般1(グループホーム利用者(所得割16万円未満)を含む)の場合、食料料費のみの負担となります。なお、食材料費は、施設ごとに額が設定されます。

(厚労省資料より)
●市町や施設によっては新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時給付金の適用を受けているとも聞きます。

《ひょうごかぞくねっとへの要望》

①ひょうごかぞくねっとの活動に何を望まれますか

- ①所属団体の活動内容の紹介、関係行政機関への進言及び陳情
- ②この3年間は長く、出かける事が、人ごみの中がしんどくなりつつあります。行事にも参加できないことが多くなりますが、行事の事、内容はプリントで報告したりしたいと思います。
- ③施設、いろんな人、場所、活動を知ること。交流すること。
- ④物価高騰で障害者施設の法人は3割が赤字担っているといわれている。今政府にお願いしなければ大変厳しい状態になってしまう。最重要の課題です。
- ⑤国への要望(入所施設の必要性、グループホームの拡充)
- ⑥入所施設・グループホームに入っている方の家族の声を聞く機会を作してほしい
- ⑦組織の拡大は望めないで、何としても現状維持。退会するのを全力で防いでほしい。
- ⑧施設利用者の連帯を進める取り組み
- ⑨かぞくねっとの原点(初心)に戻り、各施設家族会(保護者会)の継続。なお一層の団結で共通課題の共有化、我がこととしてひとつひとつ地道に、その関係者(機関)等へ理解と啓蒙に繋げていけるよう前進すること
- ⑩具体的な活動実績を知りたい(どんな時に相談できる機関なのか)

●①～⑩全て

②家族会の運営について悩みはありますか

- ①会員が兄弟姉妹になっているので、保護者会と会員、会員同士の関係が疎遠になっている
- ②家族会ではなく、施設からの連絡また利用者さんの様子を報告してもらおう形として年4回、施設家族会の話し合いの場として開催しています。
- ③保護者会役員が永年務めており、それも60歳～80歳代と高齢化して、次世代の役員人事が心配です。 ④新しい役員を引き受け手くれる人がいない。
- ⑤家族会の高齢化
- ⑥協調性のなさ
- ⑦高齢化によると思われるが、家族会を開くたび出席者が減少していて役員選出も大変厳しくなってきた。 ⑧ 家族会員の高齢化による参加者減少のため。家族会活動が難しくなりつつある
- ⑨役員の高齢化かが進み、新規役員の希望者がいない。
- ⑩家族の高齢化、役員の後継者不足 出席者が限定されている
- ⑪役員のなり手
- ⑫出席する人が決まっている。欠席者が多い
- ⑬会員の高齢化により、家族会を退会されるケースが多い

●構成員の高齢化に伴う諸問題 ●兄弟問題

③障害をお持ちの家族についての悩みや心配はありますか

- ①親亡き後の障がい者の将来
- ②親が高齢者になる中で、後見人のあり方、遺産相続など親の方からどうしたらいいかと話が出ている。施設長など知識のある人にそんな話を詳しく教えてほしいと思う。
- ③現在通所の息子をうまく入所またはグループホームに入れるか不安。
- ④親亡き後 親亡き後安心して託せる終わりの住処(施設)の実現
- ⑤親亡き後のすべてが心配
- ⑥親亡き後施設で充実した生活を送れるか
- ⑦子どもの将来・親亡き後・親の高齢化
- ⑧他人に迷惑をかけていないか
- ⑨通所施設利用者は65歳以上は介護サービスへの移行となるのか
- ⑩いつの時点においても家族会のほとんどの皆さんの声は「親亡き後」の心配が一番

●親亡き後の心配 ●介護保険との関係

④研修会で取り上げてほしいテーマにありますか

- ①障がい者の家族として知っておいた方がよい知識や制度、法律など
- ②後見人として弁護士などに依頼したとき、障害者年金でやっていけるのか、親の補助金もない中、どうやって本人の身の回りの生活を守っていけるのか不安です。
- ③職員さんの現場の声、想い、現状を知りたい。
- ④わかりやすい成年後見の話
- ⑤コロナ前のようにみんなが集まれるばがほしい
- ⑥権利としての障害者福祉事業
- ⑦収益事業の効率化を目指さない支援へ。

●成年後見制度について ●制度や法律の知識 ●皆が集まれる企画

ご協力ありがとうございました。

皆さんと共に考え活動していきたいと思いますので、一層のご協力をお願いいたします。